



Maehara International Understanding

M^{エム} I^{アイ} U^{ユー}

前原高校国際理解しんぶん 11/18

第 5 号 発行:国際理解教育委員会



ザンジバル代表チームと野球を通して国際交流!

2年7組 伊是名 識仁 (前原高校野球部所属)

11月5日6日にアフリカのタンザニアという国のザンジバルから来た代表選手たちと、僕たち沖縄県選抜チームで野球の交流試合をしました。沖縄県の高校生を集めて選抜チームを作ること、他国と試合をすることは実に25年ぶりのことだそうです。僕はこの貴重な体験で沖縄県選抜の主将を任せられました。国際試合ということでアナウンスによる紹介でベンチから出てきてグータッチをしたり、両国の国歌掲揚をしたり、普段僕たちが味わえないことを体験することができました。ザンジバルと日本の野球の歴史は異なりプレーの差はあったけど、一人ひとりの身体能力が高く、ゴロでもセーフになるくらい足が速かったことに驚きました。僕がザンジバルの人たち

を見て感じたことは、仲間がアウトをとると近くの選手がすぐかけ寄りグータッチやハグをして、とても仲間思いだということ、そして一つひとつの言葉や動作に必ず「ありがとう」と言って、感謝を忘れずに野球をしていて、そういう姿をみてたくさん得ることがあります。また、お互いの言語を教えたり、ジェスチャーでコミュニケーションをとっています。ザンジバルの人は販売機

がとても珍しいらしく、僕がお金を入れてジュースを買って、ジュースが出てくるととても興奮してジャンプして大声を出しながら僕のジュースを持って逃げていきました!(笑)今回はザンジバルとの交流だけでなく、県内の高校生とも交流をし、技術面でも得るものがあり充実しています。まだザンジバルの選手たちとの交流は続くので、たくさん経験して前原高校のみんなに体験したことを話したいです!



ザンジバル&沖縄チーム



沖縄選抜チーム

↑識仁

私が海外に興味を持ったきっかけは、幼い頃からハワイに住んでいる祖母の姉の家族との交流がよくあったからです。祖母の姉は戦後にハワイの方と結婚し、8人の子供を産み、ハワイですっと生活していました。ハワイの家族は祖母以外は英語しか話せませんが、幼い頃から沖縄に来た際は、よく遊んでいました。そのことがきっかけで、海外や英語に興味を持ち、大学卒業後にハワイに語学留学に行きました。英語に興味はありましたが、苦手なほど分らない中ハワイに行きました。ハワイでは叔母や同世代の親戚もいたので安心して生活ができました。一応語学留学ということで、ハワイ大学内にあるナイスプログラムという語学学校に9ヶ月ほど通いました。語学学校には日本人もたくさんいましたが、中国、韓国、ブラジルなど様々な国から語学を勉強しに来ていました。ハワイでは、語学勉強だけでなく、現地の大学生と交流したり、ホノルルマラソンのボランティアなどたくさん体験をしました。ほとんど英語が分からないレベルでいきましたが、卒業式には「感謝」というテーマでクラス代表になりスピーチもしました。ハワイ留学も終わり帰国後は...

次回へつづく(続きは廣山先生の異文化(珍)体験!)



「殻を破って世界にチャレンジ」 体育科:廣山祐樹先生

「普段経験することができない貴重な体験ができてよかったです。またやりたいです!」1-8 渡久地義唯

3年基礎英語



1年8組



「意外と自分たちと同じような高校生だった。違う国の人と関わってみて楽しかった!」 3-4 長嶺安延

「もっと話をスムーズにするために英語を勉強しようと思った。次は相手の国の言葉で話してみたい!」1-5 川満梨々美



1年5組

台湾の高校生とオンラインで国際交流!

